

The Record

2009-03 Vol.592



特集

エルマーク表示対象範囲の拡大

～劇場用映画やアニメなどの配信サイトにも表示を開始～

2008年のレコード産業



社団法人 日本レコード協会



Contents

Monthly News Digest	1
Watching!	
著作権法改正案と今後の検討課題.....	3
特集	
エルマーク表示対象範囲の拡大 ～劇場用映画やアニメなどの配信サイトにも表示を開始～	4
特集	
2008年のレコード産業	7
PICK UP.....	10
Data File	11
Monthly Production Report	12
GOLD DISC	13
Message & Opinion	14

1 / 27

第15回RIAJセミナー開催 「インターネット上の著作権侵害 の実態と取り組み」

1月27日、東京都港区のコンフォートにおいて、第15回RIAJセミナーが開催された。

今回のセミナーでは、インターネット上の著作権侵害の実態と取り組みについて、4人の講師により講義が行われた。会員各社の法務担当者はデジタル時代における深刻な侵害行為の実態状況を目の当たりにし、講義ごとに多くの質疑応答がなされ、幅広い意見が寄せられた。

■主なテーマと講師

- (1) インターネット著作権侵害事件の事例について
警察庁 生活安全局 情報技術犯罪対策課 課長補佐 警視 田中敏昭 氏
- (2) 中国のインターネット上の著作権侵害状況/CODAの活動について
日本貿易振興機構 (JETRO) 在外企業支援 知的財産部 知的財産課 コンテンツ海外流通促進機構 (CODA) 事務局 清水えり奈 氏
- (3) 音楽業界を取り巻く近年のインターネット著作権侵害実態とその対策
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント サイバーアクションチーム 課長 高良仁久 氏
- (4) インターネット著作権侵害に対するRIAJの取り組み
社団法人日本レコード協会 法務部 課長補佐 米内 友伸



2 / 06

第16回RIAJセミナー開催 「2008年音楽メディア ユーザー実態調査報告」

2月6日、東京都港区のコンフォートにおいて、第16回RIAJセミナーが開催された。

今回のセミナーは、2008年度実施された「音楽メディアユーザー実態調査」の結果報告であり、野村総合研究所より、調査の概要が説明された。

調査報告については4月号にて掲載予定。

2 / 19

第17回RIAJセミナー開催 「変化するメディアと 効果的なプロモーション」

2月19日、東京都新宿区の日本青年館において、第17回RIAJセミナーが開催された。

今回のセミナーでは「変化するメディアと効果的なプロモーション」をテーマに、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所所長 榊原廣氏を講師に迎え、1時間半の講義が行われた。

2 / 23

「第③世界」開設・運営者に 懲役3年執行猶予5年と 罰金500万円の判決

2月23日、京都地方裁判所は、レコード会社等の権利者に無断で携帯電話向けの音楽ファイルを送信可能な状態にしていた兵庫県姫路市在住の28歳の男性に



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す登録商標です

対し、懲役3年執行猶予5年と罰金500万円の判決を下した。

この男性は、携帯電話向け専用サイト「第③世界」を開設・運営し、権利者に無断で音楽ファイルをアップロードし、不特定多数がダウンロードできる状態にしていたとして、昨年10月21日に京都府警察本部生活安全部生活経済課ハイテク犯罪対策室、八幡警察署、および下鴨警察署に逮捕されていた。

京都府警察本部生活安全部生活経済課ハイテク犯罪対策室の調べによると、この男性が運営していた「第③世界」という携帯電話専用サイトでは約1万5,000曲分の音楽ファイルが送信可能な状態にされており、100万人以上の利用者がいた。

また、この28歳の男性と共謀の上、権利者に無断で音源をアップロードし、不特定多数がダウンロードできる状態にしていたとして、昨年10月21日に逮捕されていた53歳の男性は、2月13日に京都地方裁判所から懲役1年6ヶ月執行猶予3年の判決が下されている。

音楽関係6団体 「Happy Music Cycle キャンペーン」実施

2月16日～3月15日、当協会を含む音楽関係6団体は「Happy Music Cycle キャンペーン」を実施した。

音楽関係6団体は、平成13年より、社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)の共通目的基金の助成を受け、音楽創造のサイクルを破壊する音楽の違法利用防止を目的に、著作権啓発キャンペーンを実施している。

今年度は、WEB・モバイルに特設サイトを設け、①「音楽創造のサイクル」の理解促進、②レコード会社が許諾した正規の音楽配信を表すエルマークの認知向上を目的に、著作権やエルマークについて楽しみながら学べるHappy Music Cycle検定、ミュージックギフトカードが当たるプレゼントキャンペーンを行った。

■キャンペーン参加団体

- ・社団法人日本音楽著作権協会
- ・社団法人日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター
- ・社団法人日本レコード協会
- ・社団法人日本音楽事業者協会
- ・社団法人音楽出版社協会
- ・社団法人音楽制作者連盟

■キャンペーン協力

- ・株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- ・KDDI株式会社
- ・ソフトバンクモバイル株式会社

※上記3社の公式サイト上に、本キャンペーンページへのバナーを貼付していただいた。



2009年2月会議メモ

- 2/4 マーケティング委員会
- 2/9 レコード倫理審査会
- 2/10 法制委員会
- 2/12 広報委員会
- 2/13 情報・技術委員会
- 2/13 業務監査プロジェクト
- 2/16 日本GD大賞委員会
- 2/17 二次使用料委員会
- 2/18 海外市場拡大委員会
- 2/20 執行委員会
- 2/27 理事会
- 2/27 協会組織のあり方に関する検討委員会

著作権法改正案と今後の検討課題

文化庁長官官房著作権課長 山下和茂

文化庁では、本年1月26日に開催された文化審議会著作権分科会で約2年ぶりにとりまとめられた報告書に沿って、著作権法改正案の作成を進めています。この法案は、3月上旬の国会提出を目指しており、本稿掲載時には内容が公表されている可能性が高いですが、この機会に、音楽・レコード関係に重点を置いて改正事項の概略を御紹介するとともに、今後、文化審議会(著作権分科会)で審議される予定の主要課題について触れておきたいと思えます。

1. 著作権法改正案の内容

(音楽・レコード関係を中心として)

(1) 違法コンテンツ(海賊版)の流通抑止のために次の措置を講じることとしています。

①海賊版の販売広告行為の侵害化

著作権等を侵害する行為によって作成された物等について、情を知って、頒布する旨の申出(広告)をする行為を著作権等を侵害する行為とみなす等の措置を講じることとしています。(罰則あり)

②違法ダウンロード行為の私的複製(30条)からの除外

私的使用目的で行う複製のうち、著作権を侵害する自動公衆送信(ファイル交換ソフトや違法サイトなど)を受信して行う録音・録画(ダウンロード行為)を、その事実を知りながら行うものは、複製権が及ぶこととするものです。(罰則なし)

(2) 社会的要請を踏まえた権利制限の見直しとして、次の措置を講じることとしています。

①デジタル化・ネットワーク化への対応

国立国会図書館における所蔵資料の電子化、インターネットにおける送信の効率化のための複製、インターネット情報検索サービスを実施するための

複製、情報解析研究のための複製、電子機器利用時に必要な複製に関する規定を新たに設けることとしています。

②障害者の情報利用機会の確保

視覚障害者向け録音図書作成主体を拡大するとともに、映像作品への聴覚障害者向け字幕等の付与を可能とするなどの改正を行うものです。

(3) デジタルコンテンツ流通(特にテレビ番組のネット利用)を円滑化するため、著作権者不明等の場合の裁定制度(現行67条)の申請をした者に対し、裁定結果が出るまでの間の暫定的利用を可能とするとともに、この制度を著作隣接権にも準用するための改正を行うものです。

2. 今後の検討課題

以下の課題については、近くスタートする第9期の著作権分科会において検討することとなっています。いずれも我が国著作権法制の根幹にかかわる問題であるのみならず、文化振興政策の観点からも十分な議論が求められている課題だと認識しております。

特に、私的録音録画補償金に関しては、昨夏の地上デジタル放送のコピー制限緩和(ダビング10実施)に際し、文科省及び経産省の間で合意したブルーレイディスクの政令指定ですら、今なお機器メーカーの反対によって実現できない状態が続いていることを、あらためてお詫びするとともに、この問題の一日も早い解決のため、関係各位の御理解・御協力を御願ひする次第です。

(1) 私的録音録画補償金制度の見直し

(2) 保護期間延長問題

(3) 権利制限の一般規定(日本版フェアユース規定)の導入

山下和茂(やました かずしげ)

1962年3月福岡県生まれ。84年3月東京大学法学部卒業。84年4月文部省入省。98年4月全米科学財団(NSF) 出向(科学技術政策調査)。2000年4月文部省大臣官房企画官(行政改革・教育改革担当)。01年7月千葉県教育委員会教育次長。03年8月文部科学省高等教育局主任大学改革官(国立大学法人化担当)。04年4月文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長。05年7月文部科学省初等中等教育局教科書課長。07年7月現職。

エルマーク表示対象範囲の拡大

～劇場用映画やアニメなどの配信サイトにも表示を開始～

当協会では、2008年2月19日より、インターネットや携帯電話におけるレコード音源などの配信コンテンツを、ユーザーが安心して利用できる環境を提供するため、多くの配信事業者の協力のもと、正規の配信サイトを識別できるエルマーク[®]の導入を進めてきた。このエルマークは、レコード会社との契約によって配信されているレコード(CD)の音源や音楽ビデオなどのコンテンツ配信サイトで表示されているもので、現在163社の配信事業者、997の音楽ダウンロード配信サイトにおいて表示されている(3月1日現在)。

今回、エルマークの表示範囲に関し、従来のレコード音源や音楽ビデオのみならず、劇場用映画・アニメなどの映像コンテンツの配信も表示の対象として運用を拡大することとなった。さらに、エルマークはこれまで、ダウンロード配信のみを対象としていたが、映像コンテンツの配信まで表示範囲を拡大することにより、今後はストリーミング配信も新たに対象に加え、マークを表示していく。

この対象範囲の拡大については、2009年3月18日より、社団法人日本映画製作者連盟の協力のもと、有限責任中間法人日本動画協会、社団法人日本映像ソフト協会の支援を受け、運用をスタートする。

このように、映像コンテンツの配信サイトでもエルマークが表示されることにより、ユーザーが安心してコンテンツを利用できる環境が一層整備され、ユーザーの違法コンテンツの利用防止に向け、大きく前進することとなる。

※「エルマーク」は当協会の登録商標です。

エルマーク表示対象範囲の拡大に伴い、ここでは、社団法人日本映画製作者連盟 事務局次長 華頂尚隆氏、有限責任中間法人日本動画協会 常務理事 大山秀徳氏、社団法人日本映像ソフト協会 理事・事務局長 後藤健郎氏のコメントおよび、対象範囲、新しいキャッチコピーを紹介する。

RIAJ Interview



エルマークは、デジタル世界に秩序を構築する第一歩になる

社団法人日本映画製作者連盟 事務局次長 華頂尚隆氏

映画産業は、一つの作品を興行、パッケージ、TVといった異なるウィンドウで展開する1ソース・マルチユースのビジネスモデルが基本です。そこに新たに加わったインターネット配信は、始まってまだ日も浅く、これからのメディアです。その成長ポテンシャルは相当あると見ており、将来的にはウィンドウ・ビジネスの大きな柱の一つになるものと期待しています。

今のところ、いわゆる戦隊ものや時代劇、名監督の作品など、特徴のあるコンテンツの需要が手堅く、ビジネスとして期待できるところまでできました。今後、ネット上に多数の作品がラインアップされるようになれば、ロングテールで収益を上げるビジネスモデルも形成されていくでしょう。

インターネット等のデジタル世界は、現実の生活と並んで人間社会に欠かせないものになりつつあり、映像分野でも大きな潜在市場が広がっています。ところがこのデジタル世界には、秩序がきちんと守られず、違法行為がはびこるという大きな問題点があります。特にデジタル・コンテンツの違法利用は深刻であり、映像ビジネスのこれからの進展にも影を投げかけ、一回リセットしてやり直せないかと思うほどです。最近では、ネット上の違法行為を取り締まる法的、技術的な環境も整いつつありますが、それだけでは十分ではありません。摘発と並行して、ユーザーに積極的な啓発活動を行い、双方から違法対策に取り組むことが、デジタル世界の正常化を導くと考えています。エルマークはその大切な第一歩として、非常に期待しています。

デジタル世界の闇を駆逐して秩序を構築するため、これからあらゆるコンテンツの製作者、配信元が一致団結して取り組んでいく必要があります。今回、エルマークの表示が音楽に続いて映像を正規に配信するサイトへ拡大されたことにより、デジタル世界の秩序の構築へ向けて、第一歩からさらに前進する力が得られたと確信しています。

ユーザーにわかりやすいエルマークを広げていきたい

有限責任中間法人日本動画協会 常務理事 大山秀徳氏

私たち日本動画協会は、日本のアニメーション制作会社が集結し、現在59社の加盟を得ています。音楽同様、各社の多くの作品はブロードバンドや携帯電話を通じて配信されています。このアニメーション分野の配信ビジネスでは、既存コンテンツの配信が概ね一巡したところで、今後はブロードバンド、携帯ほか個々の分野で、それぞれに適したコンテンツの製作を含めて新たな展開を図るステージに入ります。ITの進歩により、インターネット、携帯電話のネットワークを通じて高品質のコンテンツが一瞬にして大規模に流通する昨今、影響の大きさは今までのメディアの比ではありません。その成長性には大きな手ごたえがあり、企画立ち上げの段階からユーザーの反応を取り入れるなど、さまざまに手を尽くしていけば可能性は無限に広がるのではないかとワクワクするほどで、期待大の分野です。

しかし一方で問題なのは、多くのコンテンツが対価を支払われなまま流通していることです。製作者にリターンのない状態でコンテンツが消費されると、次の作品の製作費を得られず、日本の映像文化の衰退を招くことは明らかです。このような環境に対し、エルマークは、私たちの文化を創造し、守るための有効な手段の一つになるでしょう。ユーザーに非常にわかりやすいかたちで、良質なコンテンツを持つ正規サイトを示すわけですから。またユーザー側からも、正規サイトを見分けて安心してコンテンツを購入できますので、歓迎されるのではないのでしょうか。正しく、質の高い商品であることを保証するマークとして認知され、広がることにより、正当に対価を払って良いものを購入することが、文化を支えることにつながる、という意識がユーザーに根づいていくことを期待しています。

動画協会の仲間の作る作品はいずれも素晴らしいものです。インターネットでも広く楽しんでいただけるように、関係者の皆様と手を携えて、エルマークの推進を図りたいと考えています。



映像配信へのエルマーク表示拡大範囲

配信形態	レコード会社許諾先	映像製作会社許諾先
ダウンロード	現行範囲	○(拡大)
ストリーミング	○(拡大) 短期プロモーション許諾は対象外	○(拡大)

範囲拡大後想定される事業者規模

	事業者数
既対応サイト事業者	163社 (3月1日現在)
当協会会員社が許諾するストリーミング配信事業者	57社
映画会社等の許諾先事業者 (既対応サイト事業者との重複を除く)	14社以上

エルマークのデザイン



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す登録商標です

従来のキャッチコピーに、コンテンツ提供元として「映像製作会社」が付け加えられた。

正規の配信ビジネスの拡大は映像ビジネスにも好影響を与える

社団法人日本映像ソフト協会 理事・事務局長 後藤健郎氏

映像ビジネスの特徴は、マルチウィンドウによる多面的な展開です。当協会の関わるパッケージも相当な比率を占めていますが、既存のウィンドウに配信という新しいメディアが加わることにより、新たな可能性が拓けます。単純に配信が増えてパッケージが減るという影響ではなく、相互の特性を活かした視点での取り組みが生まれ、映像ビジネス全体の拡大に好影響をもたらすだろうと期待しています。2011年には地上波放送のデジタル化も予定されていますから、パッケージ分野でもデジタル・コンテンツの取り扱いや配信との連携を考える必要があり、研究も進められています。

どのようなかたちで連携するにせよ、健全な配信市場が育つことが前提になりますが、その点エルマークはいいですね。まずユーザーにとって非常にわかりやすい。ファーストアクセスですぐわかるマークがあれば、安心してコンテンツを購入できます。これが一番です。今すでに多くの音楽コンテンツ事業者が参加し、さらに映像へも広がっていきます。これから映像分野が配信ビジネスに向かうにあたり、うまく移行できるのではないのでしょうか。今回のエルマーク表示の適用拡大は、当協会としても歓迎です。



2008年のレコード産業

**音楽ビデオが+13%と好調、
音楽配信も+20%と依然高い成長率を維持
音楽ソフト全体は厳しい状況が続くも、
ジャンル別には邦楽が健闘**

2008年の音楽ソフト(オーディオレコード+音楽ビデオ)総生産金額は、前年比92%の3,618億円となり、依然厳しい状態が続いている(数量は同95%の3億349万枚/巻)。音楽ソフトの内訳は、オーディオレコード前年比89%で2,961億円、音楽ビデオ前年比113%で656億円となっており、音楽ビデオは4年連続前年を上回っている。

音楽ソフトにおける邦楽・洋楽の比率をみると、邦楽は前年比95%と健闘しているものの、洋楽は前年比85%であり、海外諸国の苦戦がそのまま直結した2007年の傾向が続いている状況である。

有料音楽配信は前年比120%の905億円と相変わらず力強い伸びを示しており、音楽ソフトの生産金額と音楽配信の合計は4,523億円、前年比97%となっている。日本の配信マーケットの特徴であるモバイルの圧倒的優位は変わらず、インターネットダウンロードと携帯ダウンロードの金額比は1:9となっている。また、有料音楽配信のうち、モバイルにおいては、2007年Ringtunes(着うた®)とシングルトラック(着うたフル®)の構成比が逆転したが、2008年ではシングルトラック(着うたフル®)の比率が50%を超えた。今後もその傾向が強まっていくと予想される。

音楽配信の伸長がオーディオレコードにどう影響しているのを見るために、シングルCDと音楽配信のシングルトラックの数量、金額を抽出してみると、2006年以降シングルCDの落ち込みを配信の伸長が大きく上回っていることがわかる。2008年の合計金額では934億円となり、シングルCDのピークであった1997年の1,044億円に、年々近づいている。

	数量 [千枚(回)]			金額 [百万円]		
	シングルCD	シングルトラック	合計	シングルCD	シングルトラック	合計
2005	64,687	31,651	96,338	48,855	8,554	57,409
2006	67,554 (104.4%)	78,192 (247.0%)	145,747 (151.3%)	50,847 (104.1%)	21,476 (251.1%)	72,323 (125.9%)
2007	61,695 (91.3%)	139,729 (178.7%)	201,424 (138.2%)	46,945 (92.3%)	38,335 (178.5%)	82,279 (113.8%)
2008	53,727 (87.1%)	180,374 (129.1%)	234,101 (116.2%)	39,945 (85.1%)	53,501 (139.6%)	93,446 (113.6%)

()内は対前年比

このシングルの傾向からも、ユーザーニーズの変化、多様化が見られる一方で、ユーザーの音楽に対する需要はピーク時から変わっていないことがわかる。また、欧米主要国の極端不振に比べ、健闘が目立つ日本では、豊富な新人デビュー数とシングルヒット作りでアルバムCD、音楽DVDを牽引する日本独自のビジネスモデルが、効果を発揮していることがわかる。

2008年音楽ソフト

(数量：千枚・巻/金額：百万円)

			数量	前年比	金額	前年比
オーディオレコード	8cmCD	邦	201	78%	103	76%
		洋	38	33%	5	21%
		計	239	64%	107	69%
	シングル 12cmCD	邦	53,027	87%	39,621	85%
		洋	461	90%	216	59%
		計	53,488	87%	39,837	85%
	計	邦	53,228	87%	39,724	85%
		洋	499	80%	220	57%
		計	53,727	87%	39,945	85%
	12cmCD アルバム	邦	133,653	98%	187,411	91%
		洋	55,071	89%	63,911	85%
		計	188,724	95%	251,321	90%
	CD計	邦	186,881	94%	227,135	90%
		洋	55,570	89%	64,131	85%
		計	242,451	93%	291,266	89%
アナログ ディスク	邦	151	81%	234	86%	
	洋	61	44%	118	41%	
	計	212	65%	352	62%	
カセット テープ	邦	4,579	83%	3,737	83%	
	洋	7	85%	3	84%	
	計	4,586	83%	3,740	83%	
その他	邦	266	78%	449	81%	
	洋	233	91%	342	69%	
	計	498	84%	791	76%	
合計	邦	191,878	94%	231,555	90%	
	洋	55,870	89%	64,594	84%	
	計	247,747	93%	296,149	89%	
音楽 ビデオ	DVD	邦	51,312	109%	59,116	117%
		洋	4,158	97%	6,085	90%
		計	55,469	108%	65,201	114%
	テープ・LD・その他	273	85%	426	104%	
	合計	邦	51,559	109%	59,519	117%
	洋	4,183	95%	6,108	90%	
	計	55,742	108%	65,626	113%	
音楽ソフト合計(オーディオ音楽ビデオ)			303,490	95%	361,775	92%
ビデオ (含音楽ビデオ)	DVD	95,278	99%	171,118	98%	
	テープ・LD・その他	646	71%	1,849	154%	
	合計	95,924	99%	172,967	98%	
オーディオ/ビデオ合計			343,671	94%	469,116	92%

備考：1. 本年実績は、会員会社「54社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

有料音楽配信売上実績

2008年有料音楽配信売上実績

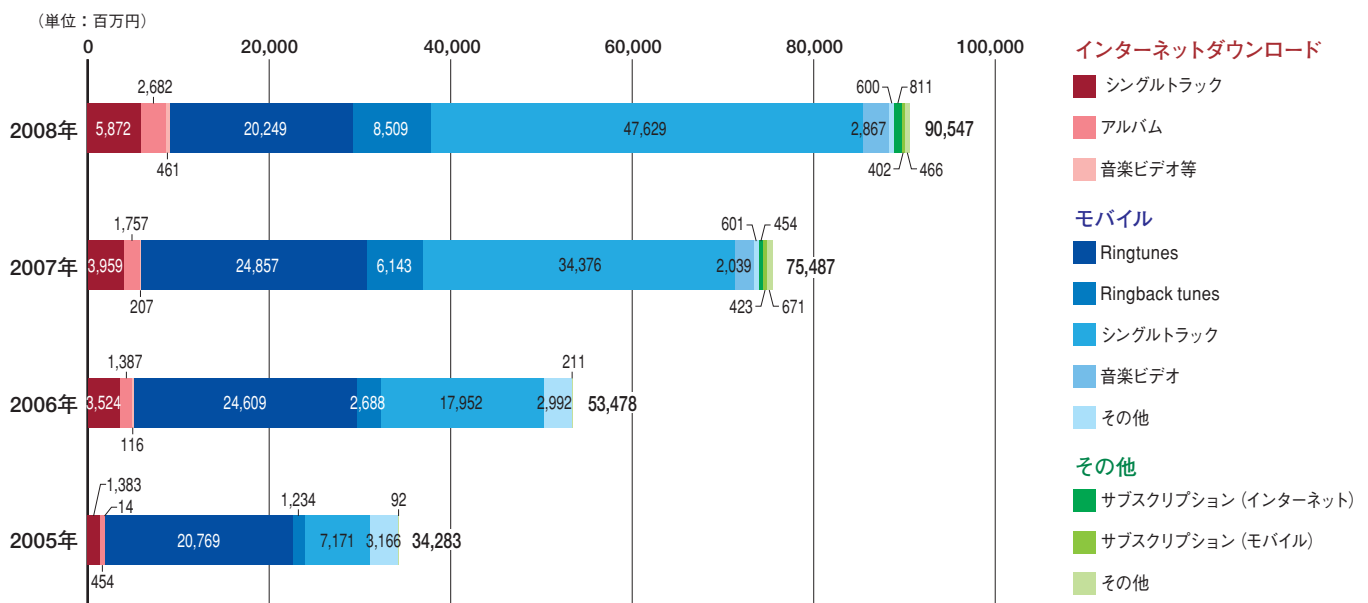
(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2008年1月～2008年12月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネット ダウンロード	シングルトラック	38,105	133%	5,872	148%
	アルバム	2,190	145%	2,682	153%
	小計 (オーディオダウンロード分)	40,295	134%	8,555	150%
	音楽ビデオ	1,574	190%	461	223%
	その他	0	—	0	—
	合計	41,869 (8.7%)	135%	9,015 (10%)	152%
モバイル	Ringtunes	182,498	82%	20,249	81%
	Ringback tunes	101,030	117%	8,509	139%
	シングルトラック	142,269	128%	47,629	139%
	音楽ビデオ	9,669	106%	2,867	141%
	その他	1,819	56%	600	100%
	合計	437,285 (91.3%)	101%	79,854 (88%)	117%
その他	サブスクリプション (インターネット)	—	—	811	178%
	サブスクリプション (モバイル)	—	—	402	95%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	34	214%	466	69%
	合計	34 (0%)	214%	1,678 (2%)	108%
総合計		479,188 (100%)	103%	90,547 (100%)	120%

注: 数量…ダウンロード回数

()内は構成比

● 有料音楽配信売上金額の推移



備考: 「音楽ビデオ」は2007年1月より項目として独立。2006年以前は「その他」内に含まれる。

音楽ソフト総生産数量・金額の推移 (2004~2008)

音楽ソフトの生産数量					(単位:千枚・巻)				
		数量							
		2004	2005	2006	2007	2008			
オーディオ レコード	シングル	8cmCD	邦	13,599	1,761	1,502	257	201	
			洋	1,763	182	191	114	38	
			計	15,363	1,943	1,693	371	239	
		12cmCD	邦	65,313	62,102	65,417	60,810	53,027	
			洋	1,160	643	443	513	461	
			計	66,473	62,745	65,861	61,324	53,488	
	計	邦	78,912	63,863	66,919	61,068	53,228		
		洋	2,923	824	634	627	499		
		計	81,835	64,687	67,554	61,695	53,727		
	12cmCD アルバム	邦	145,250	156,476	142,702	137,054	133,653		
		洋	75,170	80,640	79,997	61,592	55,071		
		計	220,420	237,116	222,698	198,646	188,724		
	CD 計	邦	224,162	220,339	209,621	198,121	186,881		
		洋	78,093	81,465	80,631	62,219	55,570		
		計	302,255	301,803	290,252	260,340	242,451		
	アナログ ディスク	邦	635	230	146	186	151		
		洋	259	76	102	138	61		
		計	894	306	248	324	212		
カセット テープ	邦	8,981	7,406	6,653	5,549	4,579			
	洋	19	19	12	8	7			
	計	8,999	7,425	6,665	5,557	4,586			
その他	邦	275	223	359	340	266			
	洋	256	195	117	254	233			
	計	531	418	476	594	498			
合計	邦	234,052	228,198	216,779	204,197	191,878			
	洋	78,627	81,755	80,862	62,619	55,870			
	計	312,680	309,952	297,641	266,816	247,747			
音楽 ビデオ	DVD	邦	27,202	36,189	43,539	47,250	51,312		
		洋	6,355	6,178	4,935	4,275	4,158		
		計	33,557	42,366	48,473	51,525	55,469		
	テープ・LD・その他	1,215	900	663	321	273			
	合計	邦	28,381	37,071	44,193	47,451	51,559		
		洋	6,391	6,196	4,943	4,395	4,183		
計		34,772	43,267	49,137	51,846	55,742			
音楽ソフト合計 (オーディオ/音楽ビデオ)		347,451	353,219	346,778	318,662	303,490			
ビデオ (含音楽ビデオ)	DVD	139,590	135,236	104,024	96,173	95,278			
	テープ・LD・その他	6,676	3,077	1,678	913	646			
	合計	146,266	138,313	105,702	97,085	95,924			
オーディオ/ビデオ合計		458,946	448,265	403,343	363,901	343,671			

備考: 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

音楽ソフトの生産金額					(単位:百万円)				
		金額							
		2004	2005	2006	2007	2008			
オーディオ レコード	シングル	8cmCD	邦	1,233	404	339	135	103	
			洋	160	20	45	21	5	
			計	1,393	424	383	156	107	
		12cmCD	邦	49,874	47,962	50,144	46,425	39,621	
			洋	716	469	320	363	216	
			計	50,591	48,431	50,464	46,788	39,837	
	計	邦	51,107	48,365	50,483	46,560	39,724		
		洋	876	489	365	385	220		
		計	51,983	48,855	50,847	46,945	39,945		
	12cmCD アルバム	邦	213,986	216,510	202,433	204,932	187,411		
		洋	102,641	94,435	91,238	75,299	63,911		
		計	316,627	310,945	293,671	280,230	251,321		
	CD 計	邦	265,093	264,875	252,915	251,492	227,135		
		洋	103,517	94,924	91,603	75,683	64,131		
		計	368,610	359,800	344,518	327,175	291,266		
	アナログ ディスク	邦	289	281	178	272	234		
		洋	231	125	159	291	118		
		計	520	406	337	563	352		
カセット テープ	邦	7,422	6,305	5,604	4,502	3,737			
	洋	15	17	9	4	3			
	計	7,437	6,322	5,613	4,506	3,740			
その他	邦	302	331	879	554	449			
	洋	500	379	218	492	342			
	計	802	710	1,096	1,046	791			
合計	邦	273,106	271,792	259,576	256,820	231,555			
	洋	104,263	95,445	91,989	76,470	64,594			
	計	377,369	367,237	351,564	333,290	296,149			
音楽 ビデオ	DVD	邦	40,734	43,587	48,093	50,682	59,116		
		洋	11,044	9,768	7,731	6,733	6,085		
		計	51,778	53,355	55,824	57,414	65,201		
	テープ・LD・その他	2,123	1,618	1,019	409	426			
	合計	邦	42,794	45,101	49,098	51,054	59,519		
		洋	11,107	9,871	7,745	6,769	6,108		
計		53,900	54,973	56,844	57,823	65,626			
音楽ソフト合計 (オーディオ/音楽ビデオ)		431,269	422,210	408,408	391,113	361,775			
ビデオ (含音楽ビデオ)	DVD	172,395	176,917	178,212	174,806	171,118			
	テープ・LD・その他	24,047	8,960	3,052	1,203	1,849			
	合計	196,442	185,877	181,264	176,009	172,967			
オーディオ/ビデオ合計		573,811	553,114	532,829	509,298	469,116			

備考: 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

※ 統計データの詳細は、当協会公式ホームページ (<http://www.riaj.or.jp/>) を参照。

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

国際知的財産保護フォーラム (IIPPF) 対中官民合同ハイレベルミッションに石坂会長参加

国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)では、2月10日～13日、中国政府に官民合同ハイレベルミッションを派遣し、当協会からは石坂会長と業務部阿部担当部長が参加した。

IIPPFは、2002年4月に発足し、海外における模倣品・海賊版などによる知的財産権侵害問題の解決に意欲的な企業・団体が業種横断的に集まり、産業界の意見を集約するとともに、日本政府との連携を強化し、国内外の政府機関などに対し一致協力して知的財産保護の促進を図っている。中国政府に対する官民合同ミッションは今年度で6回目となる。

この派遣団には、産業界から団長 パナソニック株式会社 中村邦夫代表取締役会長、副団長 独立行政法人日本貿易振興機構 林康夫理事長と当協会 石坂敬一会長他計18名、政府側からは、経済産業省 高市早苗副大臣、経済産業省特許庁 黒岩進総務部長、経済産業省大臣官房(製造産業局・総合調整担当) 宮川正参事官他計19名で総勢37名の参加となった。

当協会はコンテンツ海外流通促進機構(以下CODA)の一員として参加しており、中国国家版權局へは、石坂会長をトップに、経済産業省商務情報政策局 足立康史参事官、文化庁長官官房 亀岡雄国際課長他計13名が訪問した。今回の訪問の中で、



石坂会長はインターネット上における著作権侵害対策について言及し、国家版權局職員の日本招聘について打診した。また亀岡課長は、CODAによる真贋判定トレーニングセミナー、アジア著作権セミナーへの継続協力、日中著作権協議の早期再開について言及し、最後に足立参事官より日本政府を代表して挨拶があり、友好的な雰囲気の中に終了した。中国側からも前向きな発言がなされ、IIPPFおよびCODAとの信頼関係が年々深くなってきていることがうかがえる。

PICK UP

「着うたフル®」有料音楽配信チャート 4月10日よりウィークリーで公表開始

当協会は、2009年4月10日(金)より携帯電話向け有料音楽配信「着うたフル®」のダウンロード数実績に基づくウィークリーチャートの公表を開始する。

当協会では2006年9月より会員社の協力により「着うた®」のダウンロード実績を集計し、マンスリーチャートの公表を行ってきたが、配信マーケットにおける「着うたフル®」が占める割合が急増していること、また、各方面からウィークリーチャートの要望があったことから、今回、「着うたフル®」チャートをウィークリーで公表することとなった。このチャートは、本チャートに参加するレコード会社、音楽プロダクション、出版社等の有料配信実績データを、配信事業者が直接当協会に報告し、作成されるものである。

なお、現行の「着うた®」マンスリーチャートは、2月度分(3月発表)をもって集計・公表を終了する。

「着うたフル®」有料音楽配信チャートが広く活用され、音楽ビジネスのさらなる発展の一助となることを期待している。

名称： 「着うたフル®」有料音楽配信チャート
(通称：レコ協チャート)

公表日： 2009年4月10日(金)以降毎週金曜日午前11時公表
データ提供協力配信事業者：

株式会社エムティーアイ
株式会社ダウンゴ
ミュウモ(エイベックス・マーケティング株式会社)
株式会社レコチョク
株式会社レーベルゲート
(5社、2009年2月25日現在)

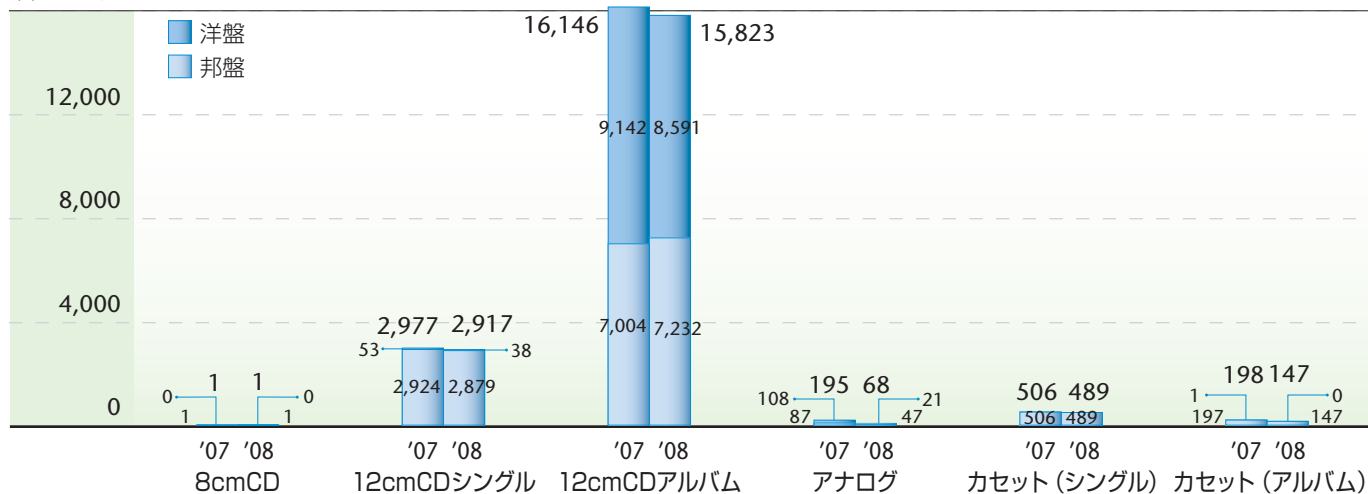
集計期間：水曜日～火曜日の「着うたフル®(有料)」ダウンロード数に基づく

2008年1月～12月新譜タイトル数

2008年(平成20年)の1月から12月に発売された新譜タイトル数がまとまりました。オーディオレコードは前年比97%の19,445タイトルとなりました。

● オーディオレコード新譜数

単位：タイトル



● オーディオレコードジャンル別新譜数

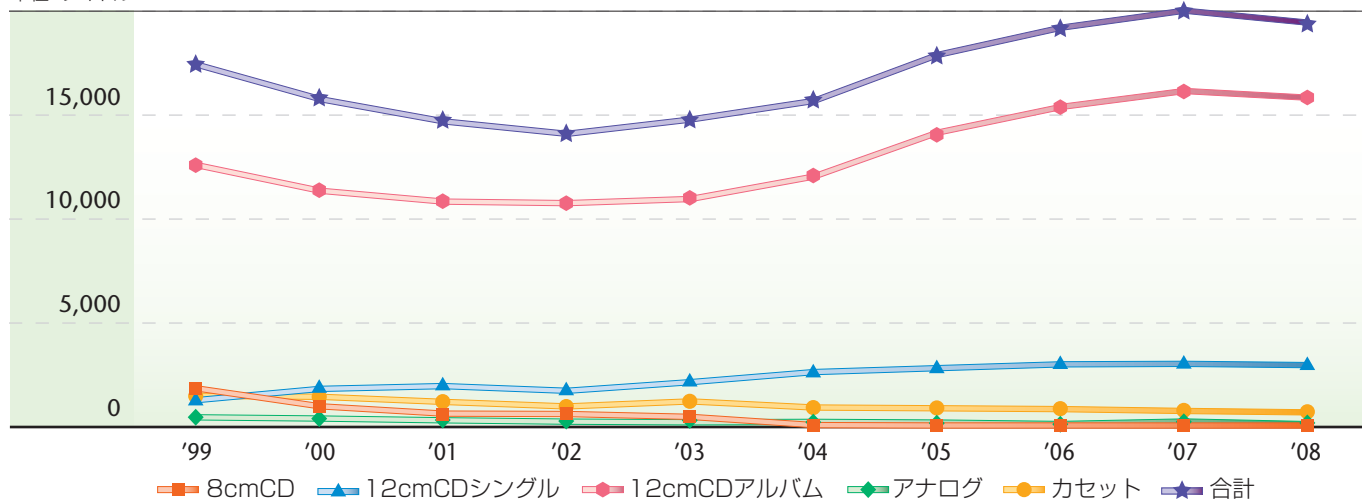
単位：タイトル

ジャンル	8cmCD	12cmCD			アナログ	カセット		合計		
		シングル	アルバム	計		シングル	アルバム			
邦盤	演歌	0	540	406	946	0	433	122	1,501	
	ポップス・歌謡曲	0	1,088	1,699	2,787	7	33	13	2,840	
	ニューミュージック	0	870	2,875	3,745	38	0	6	3,789	
	小計	0	2,498	4,980	7,478	45	466	141	8,130	
邦盤	軽音楽	0	21	431	452	0	0	0	452	
	民謡・純邦楽	0	18	176	194	0	22	5	221	
	教育・教材・童謡・童話	0	7	218	225	0	1	0	226	
	アニメーション	1	235	503	738	0	0	0	739	
	クラシック	0	5	246	251	2	0	0	253	
	カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	95	678	773	0	0	1	774	
	邦盤計	1 (-)	2,879 (98%)	7,232 (103%)	10,111 (102%)	47 (54%)	489 (97%)	147 (75%)	10,795 (101%)	
	洋盤	ロック・ディスコ	0	18	4,011	4,029	0	0	0	4,029
		ジャズ・フュージョン	0	0	1,687	1,687	18	0	0	1,705
ポピュラーソング		0	19	663	682	0	0	0	682	
映画音楽		0	0	210	210	0	0	0	210	
その他		0	0	180	180	0	0	0	180	
小計		0	37	6,751	6,788	18	0	0	6,806	
洋盤計		0 (-)	38 (72%)	8,591 (94%)	8,629 (94%)	21 (19%)	0 (-)	0 (-)	8,650 (93%)	
合計	1 (100%)	2,917 (98%)	15,823 (98%)	18,740 (98%)	68 (35%)	489 (97%)	147 (74%)	19,445 (97%)		

()内は対前年比

● オーディオレコード種類別新譜数の推移

単位：タイトル



Monthly Production Report

2009年1月度レコード生産実績

1月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比88%の1,910万枚・巻、金額で同76%の207億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比85%の1,513万枚・巻、金額で同71%の169億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比101%の396万枚・巻、金額で同105%の38億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		1月実績						2009年1月～2009年1月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シ	8cmCD	邦	6	0	22%	3	0	18%	6	0	22%	3	0	18%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
		計	6	0	11%	3	0	16%	6	0	11%	3	0	16%
ン	12cmCD	邦	3,053	20	81%	2,298	14	82%	3,053	20	81%	2,298	14	82%
		洋	9	0	6%	6	0	22%	9	0	6%	6	0	22%
		計	3,062	20	78%	2,305	14	82%	3,062	20	78%	2,305	14	82%
ル	小計	邦	3,059	20	81%	2,302	14	82%	3,059	20	81%	2,302	14	82%
		洋	9	0	5%	6	0	20%	9	0	5%	6	0	20%
		計	3,068	20	77%	2,308	14	81%	3,068	20	77%	2,308	14	81%
12cmCD アルバム	邦	8,284	55	85%	10,634	63	66%	8,284	55	85%	10,634	63	66%	
	洋	3,119	21	87%	3,570	21	81%	3,119	21	87%	3,570	21	81%	
	計	11,404	75	86%	14,204	84	69%	11,404	75	86%	14,204	84	69%	
CD 合計	邦	11,343	75	84%	12,936	76	68%	11,343	75	84%	12,936	76	68%	
	洋	3,128	21	83%	3,576	21	80%	3,128	21	83%	3,576	21	80%	
	計	14,472	96	84%	16,512	97	71%	14,472	96	84%	16,512	97	71%	
アナログ ディスク	邦	4	0	37%	6	0	83%	4	0	37%	6	0	83%	
	洋	2	0	91%	4	0	108%	2	0	91%	4	0	108%	
	計	6	0	46%	9	0	92%	6	0	46%	9	0	92%	
カセット テープ	邦	621	4	149%	347	2	100%	621	4	149%	347	2	100%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	621	4	149%	347	2	100%	621	4	149%	347	2	100%	
その他	邦	10	0	51%	13	0	42%	10	0	51%	13	0	42%	
	洋	23	0	226%	64	0	308%	23	0	226%	64	0	308%	
	計	33	0	111%	77	0	147%	33	0	111%	77	0	147%	
合計	邦	11,978	79	86%	13,302	78	69%	11,978	79	86%	13,302	78	69%	
	洋	3,154	21	84%	3,644	22	81%	3,154	21	84%	3,644	22	81%	
	計	15,132	100	85%	16,945	100	71%	15,132	100	85%	16,945	100	71%	

● 音楽ビデオ

		1月実績						2009年1月～2009年1月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,673	93	99%	3,441	91	106%	3,673	93	99%	3,441	91	106%
	洋	281	7	131%	326	9	91%	281	7	131%	326	9	91%
	計	3,954	100	101%	3,767	99	104%	3,954	100	101%	3,767	99	104%
テープ・LDその他		10	0	207%	26	1	167%	10	0	207%	26	1	167%
合計	邦	3,682	93	99%	3,462	91	106%	3,682	93	99%	3,462	91	106%
	洋	282	7	131%	330	9	93%	282	7	131%	330	9	93%
	計	3,964	100	101%	3,793	100	105%	3,964	100	101%	3,793	100	105%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	1月実績						2009年1月～2009年1月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	15,132	79	85%	16,945	82	71%	15,132	79	85%	16,945	82	71%
音楽ビデオ	3,964	21	101%	3,793	18	105%	3,964	21	101%	3,793	18	105%
合計	19,096	100	88%	20,738	100	76%	19,096	100	88%	20,738	100	76%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

	1月実績						2009年1月～2009年1月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	6,703	99	102%	10,718	97	93%	6,703	99	102%	10,718	97	93%
テープ・LDその他	80	1	322%	353	3	684%	80	1	322%	353	3	684%
合計	6,783	100	103%	11,071	100	96%	6,783	100	103%	11,071	100	96%

● オーディオ/ビデオ合計

	1月実績						2009年1月～2009年1月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	15,132	69	85%	16,945	60	71%	15,132	69	85%	16,945	60	71%
ビデオ	6,783	31	103%	11,071	40	96%	6,783	31	103%	11,071	40	96%
合計	21,915	100	90%	28,016	100	79%	21,915	100	90%	28,016	100	79%

備考 1. 上記実績は、会員会社「54社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
*オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト
邦楽
アルバム

● プラチナ

TRICK	倭田来未	2009.01.28	AMI
-------	------	------------	-----

● ゴールド

TIME CAPSULE	水谷 豊	2008.05.14	AMI
M・Renaissance ～エム・ルネサンス～	渡辺美里	2005.07.13	ES
CODE GEASS COMPLETE BEST	ヴァリアス	2009.01.14	SM

シングル

● ダブル・プラチナ

Beautiful days	嵐	2008.11.05	JA
----------------	---	------------	----

● ゴールド

歩み	GReeeeN	2009.01.28	UM
Bolero / Kiss The Baby Sky / 忘れないで	東方神起	2009.01.21	AMI
ノクターン	平原綾香	2008.11.12	DRM

ビデオ

● ゴールド

KAT-TUN LIVE TOUR 2008 QUEEN OF PIRATES	KAT-TUN	2009.01.01	JA
---	---------	------------	----

洋楽
アルバム

● ダブル・プラチナ

アバ・ゴールド	アバ	1992.11.01	UM
---------	----	------------	----

● ゴールド

サーカス	ブリトニー・スピアーズ	2008.12.03	BMG
------	-------------	------------	-----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

 基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)
 ※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

 ※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/
 AMI:エイベックス・マーケティング/BMG:BMG JAPAN/DRM:ドリーミュージック/EMI:EMIミュージック・ジャパン/ES:EPICレコードジャパン/JA:ジェイ・ストーム/PC:ポニーキャニオン/SM:ミュージックレイン/SR:ソニー・ミュージックレコーズ/UM:ユニバーサルミュージック/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信(「着うた®」他)
「着うた®」
邦楽

● ミリオン

羞恥心	羞恥心	2008.03.05	PC
-----	-----	------------	----

● ダブル・プラチナ

LALALA feat. 若旦那(湘南乃風)	加藤ミリヤ	2007.10.03	SR
扉	GReeeeN	2008.11.19	UM
歩み	GReeeeN	2009.01.01	UM
時の足音	コブクロ	2008.09.06	WJ
赤い糸	コブクロ	2008.07.15	WJ
ニホンミカタ -ネバダカラキマシタ-	矢島美容室	2008.09.25	AMI

「着うたフル®」
邦楽

● 2ミリオン

キセキ	GReeeeN	2008.06.04	UM
-----	---------	------------	----

● ミリオン

Ti Amo	EXILE	2008.09.10	AMI
--------	-------	------------	-----

● トリプル・プラチナ

LIFE	キマグレン	2008.05.14	UM
------	-------	------------	----

● プラチナ

赤い糸	新垣結衣	2008.10.15	WJ
偶然の確率	GIRL NEXT DOOR	2008.08.20	AMI
扉	GReeeeN	2009.01.29	UM

● ゴールド

Velonica	Aqua Timez	2009.01.07	ES
いますぐに...	AZU	2009.01.21	BMG
歩み	GReeeeN	2009.01.28	UM
あしたの空	SPEED	2008.11.19	AMI
MARIONETTE	BOØWY	2005.12.24	EMI
切ないくらい、愛してた。 feat. JAY'ED	Lisa Halim	2008.04.16	PC
アイラクダサイ	ONE☆DRAFT	2008.12.03	AI

※日付は配信開始日

「ファンの思い」を拡げる 架け橋として

Message & Opinion



株式会社WOWOW
制作局長 小玉滋彦

3月2日月曜日。第23回日本ゴールドディスク大賞授賞式が開催され、私も会場に足を運ばせていただきました。今年はこの授賞式の模様をTFMさんが生中継され、弊社WOWOWが録画中継をさせていただいております。

次々と発表される各賞と、その受賞者の方々によるパフォーマンス。元気いっばいのニューカマーが続いたかと思えばジャズやクラシックの演奏が続き、純邦楽が登場かと思えば特別賞には綾小路きみまろさん…。およそ普通のイベントでは考えられない幅広いキャストに彩られたステージではありましたが決して「散らかって」はいない、むしろしっかりとひとつ筋の通ったイベントとして、あっという間の2時間半を楽しませていただきました。

この不思議な「まとまり」感は、もしかしたら日本ゴールドディスク大賞が純粹に客観的な売り上げ数字、つまりはファンの方々と言わば自分のお金を払って投じた一票一票の積み重ねから成り立っていると言う事実が生み出しているのかもしれない。ステージに上がられた受賞者の方々の表情にも、普段テレビやステージで拝見しているのとは一味違った、ある種の「誇り」が見えていたのは私だけでしょうか？

エンターテインメントを中心にお届けしているメディア企業で働く者として、このゴールドディスク大賞のように真にマーケットの支持のみを指標に、ユーザーの『思い』と最も近くにあるとも言えるアワードを世にお届けできる機会が得られたことを嬉しく思うとともに、これからもその架け橋としての役目の意味をしっかりと受けとめたいと考えています。

この原稿が皆さんのお目に触れる頃には既にWOWOWでの放送は終わっていますが、今年この良き出会いをスタートラインとして、今後さらにこの『ファンの思いがもっとも託されたアワード』の盛り上がりに向けて活発な意見交換が持たれることを期待しています。

編集後記

第23回日本ゴールドディスク大賞が開催されました。3年ぶりのライブパフォーマンスとなり、会場となった東京国際フォーラムは大いに盛り上がりを見せました。さまざまなジャンルの音楽を一つのイベントで堪能できることは、本授賞式の醍醐味でもあり、音楽ファンの一人として心が弾みます。音楽配信の賞を新設した第21回以来、受賞アーティストの顔ぶれも、さらにバラエティー豊かになったのではないのでしょうか。授賞式の詳細につきましては、4月号特集にて紹介致します。
(T)

協会からのお知らせ

当協会は、2009年4月10日(金)より、携帯電話向け有料音楽配信「着うたフル®」のダウンロード数の実績に基づくウィークリーチャートの公表を開始します。

当協会では2006年9月より会員社の協力により「着うた®」のダウンロード実績を集計し、マンスリーチャートの公表を行ってきました。しかしながら、配信マーケットにおける「着うたフル®」が占める割合が急伸していること、また、ウィークリーチャート集計・公表の要望が各方面からあったことから、今回、「着うたフル®」チャートをウィークリーで公表することとしました。

詳細は10ページをご覧ください。

- 名 称 「着うたフル®」有料音楽配信チャート
(通称:レコ協チャート)
- 公表日時 毎週金曜日午前11時
- 集計期間 水～火曜日の「着うたフル®」ダウンロード数



<http://www.mamo-on.jp>

THE RECORD No.592 2009年3月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 生野 秀年
発行日 2009年3月10日
発 行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

